

ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅぼらん」

発行責任者

無所属県民会議川口支部岡村ゆり子

〒332-0031

埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F

048-229-0530

Yuriko Okamura

埼玉県議会
無所属
県民会議

vol.64 一般質問号



いつもありがとうございます。今年も川口マラソン(10キロの部)に出場し、完走しました。沿道からのご声援が大きな力になりました。ありがとうございました。

そして、12月定例会で一般質問を行いました。日頃から取り組んでいることやご意見・ご要望を少しでも前進させたいという想いで臨みました。今号は一般質問についてご報告いたします。

12月定例会 一般質問

以下8つの大項目について発言しました。()は答弁者

1 警察官の増員と育成を進めるべき(警察本部長)

- (1) 県費での増員について
- (2) 女性警察官を増やすための取組は
- (3) 外国語を話すことのできる警察官について

2 投票率向上につながる取組を進めていくべき

- (1) 期日前投票の利用方法の周知や常時啓発について(選挙管理委員会委員長)
- (2) 移動式投票所の設置について(選挙管理委員会委員長)
- (3) 商業施設内に期日前投票所を積極的に設置すべき(選挙管理委員会委員長)
- (4) 選挙カレッジに一層力を入れるべき(選挙管理委員会委員長)
- (5) 住民票の異動に関する周知啓発を(教育長)

3 早期に適切な療育が受けられるよう言語聴覚士の増員をすべき(福祉部長)

4 工業高校の魅力発信と環境整備について(教育長)

- (1) 志願者を増やす取組について
- (2) 教員の質の向上について
- (3) 特別教室や実習室に空調整備を

5 消防学校の今後について

- (1) 施設整備について(危機管理防災部長)
- (2) 寮室の改善を(危機管理防災部長)
- (3) 早期の建替えを(知事)

6 ご高齢者の移動手段の支援を積極的に進めていくべき

- (1) シルバーサポーター制度の加盟事業所の発掘について(警察本部長)
- (2) シルバーサポーター制度の加盟事業所の内容について(警察本部長)
- (3) 移動手段となる施策について(知事)

7 結婚支援の今後について(知事)

8 ひきこもり状態にある方の親亡き後のお金や財産に関する支援について(保健医療部長)

- (1) ひきこもり支援連絡会議での情報共有を
- (2) 講演会等の開催について





1 警察官の増員と育成を進めるべき

(1) 県費での増員について

岡村: 現在1万1528人の警察官が本県におり、政令で定められている人数が1万1377人、その差の151人は県費になっている。国に増員を求めても増えないのであれば、条例改正し、県費で増員していただきたいのだがいかがか。

答弁: 県独自で政令に上乘せして増員した場合は、県民の皆様の直接的な負担を増加させてしまうことから、基本的には国に対して、政令基準の改正による増員を要望している。

岡村再質問: 警察には治安の維持向上を求めているのが県民の願いだと思っており、負担が多くなっても県費で増員していただけると安心感につながるため、県費でも検討していただきたいのだがいかがか。

答弁: 警察庁では、令和7年度概算要求に地方警察官476人の増員を盛り込んでいる。1人でも多く増員が措置されるよう今後も引き続き国に対して要望していく。

(2) 女性警察官を増やすための取組は

岡村: 令和6年1月1日時点の女性警察官の人数は1,325人で、本県警察官全体の占める割合とすれば12.4%であり、10年前に比べ3.9ポイント増加している。各種事案において住民に寄り添った支援等、女性警察官だからこそ対応できるものも多くあると感じることから、女性警察官を更に増やしていけるような取り組みを進めていくべきと考えるがいかがか。

答弁: 採用面では、女性を対象とした個別相談会の実施や、仕事と家庭の両立やプライベートの充実等をテーマとしたパンフレットの活用、採用試験の身体基準の廃止など、工夫を凝らした採用活動を推進している。また、施設・装備面では、警察施設における女性用の仮眠室とトイレの整備や制服の改善に取り組んでいる。その他、妊娠中、出産前後及び育児期間中の各種休暇等の制度の運用や、女性の仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる。今後も女性警察官が働きやすい職場環境づくりを推進していく。

岡村再質問: 今後女性警察官を増やすためにSNSやホームページ等で女性警察官の仕事を分かりやすく周知等していただきたいのだがいかがか。

答弁: SNSを活用した女性警察官の職場紹介として、本県警察の魅力をインターネットを通じて広く発信していく。

(3) 外国語を話すことのできる警察官について

岡村: 言語を習得したい希望のある警察官には育成枠を設けて積極的に育成していくべきと考えるがいかがか。

答弁: 語学学習の意欲と適性が見込まれる警察官を選考し、警察大学校国際警察センター語学研修科へ毎年5名程度を入校させている。更に、平成29年には、トルコ語ができる警察官の育成のため、民間語学学校における語学教養などを行い、通訳ができる警察官の育成を図った。現在、同様の人材育成を図るための措置について検討している。



2 投票率向上につながる取組を進めていくべき

(1) 期日前投票の利用方法の周知や常時啓発について

岡村: 投票所入場整理券が手元になくとも投票できることについて、期日前投票の利用方法の周知や常時啓発を行うことはできないか。

答弁: 選挙期間中にホームページやSNSにおいて、投票所入場券がなくても投票ができる旨を県民に周知してきたところであるが、選挙時のみならず、選挙啓発出前講座、SNSでの発信などの常時啓発においても、一層の周知に努めていく。

(2) 移動式投票所の設置について

岡村: 今後更に必要性が高まっていくと考えられることから、県が先頭に立ち移動式期日前投票所の設置を進めていくべきではないか。

答弁: 高齢者など投票所への移動が困難な有権者にとっても投票しやすい環境をつくることが重要となることから、市区町村選挙管理委員会に対し、必要な助言や情報提供などを行っていく。

(3) 商業施設内に期日前投票所を積極的に設置すべき

岡村: 期日前投票所が多くの有権者の目に触れること自体、一定の啓発効果があると考えられる。わざわざ投票ではなく、ついでに投票が可能となるよう商業施設内に期日前投票所の設置を県として積極的に進めていただきたいのだがいかがか。

答弁: 未設置又は設置を検討している市区町村への後押しとなるよう、既に商業施設に期日前投票所を設置している団体に対して、設置の経緯や留意点などについてヒアリングを行い、その結果を踏まえ、具体的な進め方の参考となるよう、設置手順書を作成する予定である。今後も、市区町村選挙管理委員会において商業施設などへの期日前投票所の設置が促進されるよう、積極的な働き掛けを行っていく。

3 早期に適切な療育が受けられるよう言語聴覚士の増員をすべき

岡村: どうか光生園では、聴覚障害児の療育頻度が減少し新規の受入れを停止している。できるだけ早期に、頻回の療育を行うことが大切であり、支援体制を整えることが必要と考える。現在言語聴覚士が2名、保育士1名の体制とのことだが、言語聴覚士の増員を図ることはできないか。

答弁: 地域の児童発達支援センターで活動されている言語聴覚士の方に御尽力いただくことが重要と考える。県内の児童発達支援センター41か所のうち、27か所には言語聴覚士が配置されている。県社会福祉事業団と協議するとともに県言語聴覚士会の御協力、御助言もいただき、人材を発掘するなどして、その確保に努め、支援体制の強化を進めていく。

岡村再質問: 言語聴覚士を配置している児童発達支援センターは27あるとのことだが、常勤と非常勤の言語聴覚士がいる。常勤であれば常に対応してもらえらると思うが、中には相談しか受けていないといったところもあるので、療育まで行っているのかどうかなど、働きかけや内容などもチェックをして療育体制を整えていただきたいがいかがか。

答弁: 議員から各児童発達支援センターの内容について、しっかりチェックをとのお話がありましたので、しっかり調査をして、チェックしていく。



4 工業高校の魅力発信と環境整備について

(1) 志願者を増やす取組について

岡村: 県教育委員会として工業高校の志願者を増やすようどのような取組を行っているのか。

答弁: 大学と連携協定を締結し、高度な授業や体験活動を実施している。例えば、川口工業高校では、ものづくり大学での教授による講義や実習、最先端の技術を持った地元企業でのインターンシップを実施するなど、高度な知識や技術に触れる機会を設けている。魅力発信の取り組みとして、各工業高校においては、中学生が3Dプリンターを使う、ものづくり体験会などを実施している。

岡村再質問: 受験生が進学や就職などの進路実現を早期に考えることができるよう、大学や企業との連携などの取り組みを積極的に発信していただきたいと思うがいかがか。

答弁: 大学や企業と連携した取組を一層進め、工業高校の更なる魅力 を積極的に発信していく。

(2) 教員の質の向上について

岡村: 質の高い指導を行うには教員の質の向上は常に行っていかななくてはならない。研修や外部講師からの指導等に一層力を入れてもらいたいと考えているがいかがか。

答弁: 生徒と教員の両方が、企業の技術者から直接に指導を受けることで、教員の授業力向上も図っている。また、他の県立工業高校の教員も対象として、建設会社の社員が講師となり、建物の3Dモデルを作成するための、最新ソフトウェアを使用した研修会なども実施している。



(3) 特別教室や実習室に空調整備を

岡村: 普通教室同様特別教室や実習室にも空調を早急に整備すべきであるがいかがか。

答弁: 工業高校を含めた県立高校における特別教室や実習室の空調設備の整備については、財源の見通しを含め、その手法について検討していく。

5 消防学校の今後について

(3) 早期の建替えを

岡村: 現在の消防学校の校舎棟と宿泊棟は昭和53年度に建てられ、老朽化などに伴う課題が多々あると感じている。激甚化・頻発化する災害への備えとして充実した施設にしていかななくてはならない。早期に建替えるべきと考えるがいかがか。

答弁: 来年度早々にまとまる予定の基本構想を踏まえ、DXの活用などをしつつ、教育訓練施設の充実・機能強化及び環境整備について、しっかりと検討したいと思う。



6 高齢者の移動手段の支援を積極的に進めていくべき

(1) シルバーサポーター制度の加盟事業所の発掘について

岡村: 現在の加盟事業所がなかなか増えないなか県内企業や事業所、商店会などと日頃から接点のある部がやるべきと考えるがいかがか。

答弁: 引き続きあらゆる機会を通じて働き掛けを行っていく。また、県を始めとする本件活動に助けとなり得る関係機関としっかりと連携し、必要な取り組みを推進していく。



(2) シルバーサポーター制度の加盟事業所の内容について

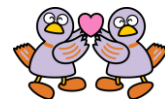
岡村: 今後移動手段に関する加盟事業所を増やす、更に割引率を上げられるよう協力いただくなど、自主返納しても困らないような内容にするべきと考えるがいかがか。

答弁: 免許証の返納を促すに際して、返納後の生活において出来るだけ困ることのないよう、内容の充実に努めていく。

(3) 移動手段となる施策について

岡村: 高齢化が更に進んでいくことを考えると、移動手段の支援や確保が必要になる。市町村が今後も地域公共交通を維持していくことができるような支援や移動手段の確保に向け、更に取り組みを進めていくべきと考えるがいかがか。

答弁: 高齢者も使いやすいデマンド交通の導入やコミュニティバスの再編など市町村が実施するコンパクト＋ネットワークによる交通再編等の取り組みを支援している。さらに、高齢者をはじめ誰もが使いやすいノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入に対しても支援をしている。高齢者の移動手段の確保に向け、市町村や交通事業者等と連携を図りながら、積極的に支援をしていく。



7 結婚支援の今後について

岡村: 結婚支援を少子化対策のみならず展開していくため、今後福祉部以外に所管を変えたり、得意な分野は各部に任せるなど、庁内の体制を見直していく必要があると考えるがいかがか。

答弁: 結婚から子育てまでの支援については一貫して福祉部が行っていることから、福祉部をこのプロジェクト・マネジメントにおいてメインの部とし、福祉部長をプロジェクトオーナー、そして、マネージャーを福祉部が担い、こども政策局長を司令塔として部局横断的に対応していくことにより、各部局の連携による相乗効果を上げていく。

8 ひきこもり状態にある方の親亡き後のお金や財産に関する支援について

(1) ひきこもり支援連絡会議での情報共有

岡村: ひきこもり支援連絡会議において、親亡き後のお金に関する情報の支援の必要性について、支援する方々に情報を共有できないか。

答弁: ひきこもり支援連絡会議や研修の機会を捉え、8050問題に関する課題や親亡き後の生活資金も含めた支援の必要性に関する情報共有を図り、充実した相談支援につながるよう取り組んでいく。



(2) 講演会等の開催について

岡村: 親なき後の財産管理に関する講演会や研修会などは全県で定期的には実施していないと聞いている。講演会等の実施はできないか。

答弁: 今後、ひきこもり支援連絡会議で民間支援団体や関係者からの意見をうかがいながら、民間支援団体の学習会の周知や県における講演会等の実施について検討していく。

以上になります。前向きな答弁も多くありました。引き続き皆さんのお声をかたちにしていけるよう頑張ります！

埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部卒業、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月～2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月～2023年4月 埼玉県議会議員(1期目)
- ・2023年4月～ 埼玉県議会議員
- ・所属委員会 警察危機管理防災常任委員会 少子・高齢福祉社会対策特別委員会
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋。アヴェントゥーラ川口も応援しています) ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ミニテニス(身体を動かすことが好きです。川口マラソンも走ります)
- ・好きな食べ物 ラーメン、チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける

